



クラリベイト・アナリティクス が創薬標的の選定を支援する製品群をリリース

「Drug Research Advisor」が創薬におけるリスクの低減と研究の効率化を支援

2017年3月27日（日本時間）

米国フィラデルフィア発

* 米国時間 2017年3月15日に発表された公式プレスリリースの抄訳です

創薬の分野では、前臨床試験において標的を同定することは困難であり、正しい標的を同定することは、創薬プロセス全体の中で最も重要なステップであることは疑う余地もありません。標的の選択プロセスで第一歩を誤ってしまうと多大なコストがかかります。CMR(Centre for Medicines Research)によると、2015年における新薬候補のPhase Iから上市までの成功確率は、すべての疾患領域で10%未満であり、Phase IIとPhase III試験の半分以上で有効性が証明されず失敗しています。

このリスクとそれに起因する費用を軽減するため、この度 Clarivate Analytics の新しいワークフローツールである Drug Research Advisor が利用可能になりました。Drug Research Advisor は、前臨床研究の主要なステップを単一のクラウドベースのワークフローに統合し、情報へのより迅速なアクセスを可能にし、より良い意思決定を可能にします。最新の可視化機能と分析ツールを備えた Drug Research Advisor を使って、IntegritySM および MetaCoreTM 製品のマニキュアルキュレーションされたコンテンツをまとめて検索し活用することができます。

Drug Research Advisor シリーズの最初のアプリケーションとしてこの度リリースされた Target Druggability は、薬剤、生物学、実験データおよび競合情報を1つのインタラクティブな検索ツールに統合することで、薬剤標的の同定や選択の研究調査をサポートします。

Clarivate のデータサイエンティストが、特定疾患の標的の選択を評価し、ファースト・イン・クラスもしくはベスト・イン・クラスになる可能性の高い順にスコアを付ける独自のスコアリングアルゴリズムを構築しました。

この新しいスコアリングシステムは、同定プロセスを12週間から30分未満に短縮します。

効率性の向上により、企業はより多くの標的を検討してポートフォリオに最も適した標的を選択できるとともに、間違った標的に費やす時間とコストを削減できます。何百万ドルものコストを節約し、さらに重要なことは、企業が命を救う医薬品をより多く市場に投入することを可能にします。

Clarivate Analytics の Discovery & Translational Science Product の責任者であるレオ・ラファティホワイトは次のように述べています。

「次のファースト・イン・クラスもしくはベスト・イン・クラスの治療の機会を特定する際に評価すべき多くの要素を考慮しながら、研究者は、周辺の適応症やパスウェイを含む標的の状

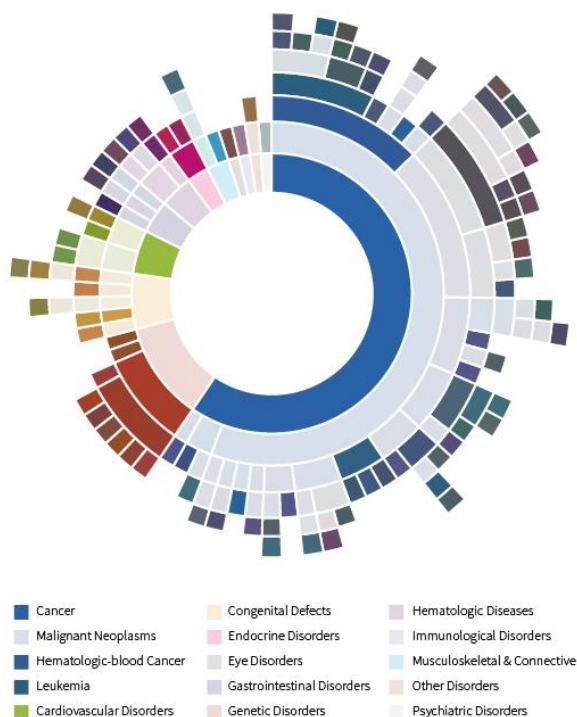
況を迅速に評価することに常に挑戦しています。Drug Research Advisor は、ますます複雑性を増すデータをより視覚的に表示し、使用可能にすることで、お客様の日々のワークフローを簡素化します。」

アプリケーションの動作

Target Druggability を使用すると、ユーザーは適応症、標的または薬剤名によって検索をすることができ、適応症に関連付けられた標的の数を直ちに確認することができます。同時に、分子および標的ファミリーの種類別の分析が視覚的に表示されます。また、有用なカラーコーディング、グルーピング、サイジングによって、標的に関連した薬剤の最高開発段階の情報や、アクティブかノンアクティブプログラムなのか、標的分子の種類、バイオマーカー、動物モデル、あるいは遺伝学的証拠レベルなど、標的をとりまくメタデータを見ることができます。

Conditions associated with Tyrosine-protein phosphatase non-receptor type 11

Displayed in hierarchical fashion based on the related evidence



Target Druggability の検索結果の視覚的表示の例

ここから、ユーザーは、リスクのレベル（画期的か実績のある標的か）を評価し、標的に関するこれまでの実績に基づく独自スコアリングアルゴリズムによって結果をランク付けすることができます。

単一のターゲットレベルに進むと、ユーザーは、マニュアルキュレーションされたコンテンツの要約を含め、標的に関連する情報のレビューを開始することができます。

お客様の声

今回の正式リリースに先立ち、Clarivate Analytics は製薬会社の研究者の方々のご協力のもとパイロットテストを実施し、Target Druggability が複雑性を増すデータの可視化や使えるデータとするための日々のワークフローを簡略化することができるかどうかを検証しました。その結果、パイロットテストにご参加いただいた 90%の方々が正式リリースを待たずに継続して Target Druggability を使いたいというフィードバックを頂戴しました。パイロットテストの参加者の一人であるアクテリオン社の Patrick Sieber 氏は、次のように述べています。

「Target Druggability を使うことにより、ターゲットの疾患領域や競合状況を含む全体像を簡単に早く把握することができる。」

またバーテックス・ファーマシューティカル社のシニアリサーチサイエンティスト Dave Deninger 氏は、「Target Druggability は意思決定のための正確な背景情報を提供し、新薬開発におけるターゲット選択のプロセスをサポートしてくれる」と述べています。

DRA Drug Research Advisor –Target Druggability は、[Fierce Innovation Awards](#) においてトップ 5 ファイナリストに認定されました。

Target Druggability に関する詳細情報は、[こちら](#)をご覧ください。

クラリベイト・アナリティクスについて

クラリベイト・アナリティクスは、世界中のお客さまに信頼の置ける知見や分析を提供することでイノベーションを加速させ、新しいアイデアのより迅速な発明・発見、保護、事業化を可能にします。トムソン・ロイターの **IP & Science** 事業を前身とする弊社は、科学と学術研究、特許調査と工業規格、製薬およびバイオテクノロジー企業をサポートするインテリジェンス、商標およびドメインブランド保護、そして知的財産マネジメントを主軸とする情報を保有し、業界をリードする購読ベースのビジネスを展開しています。クラリベイト・アナリティクスは 4,000 人以上の従業員を擁し、世界 100 カ国以上で事業展開する独立会社として、**Web of Science**、**Cortellis**、**Thomson Innovation**、**Derwent World Patents Index**、**Thomson CompuMark**、**MarkMonitor**、**Thomson IP Manager** そして **Techstreet** など、広く知られるブランドを所有しています。詳しくは **Clarivate.com** をご覧ください。

クラリベイト・アナリティクスおよびそのロゴ、**Web of Science**、**Cortellis**、**Derwent World Patents Index**、**CompuMark**、**MarkMonitor** そして **Techstreet** は、**Clarivate Analytics** の商標です。

情報出所 : Clarivate Analytics
2017 年 3 月 15 日
[英文プレスリリースはこちら](#)

《この件に関するお問い合わせ》
クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社
広報担当
〒107-6119 東京都港区赤坂 5 丁目 2 番 20 号 赤坂パークビル 19 階
TEL: 03-4589-3100